

## 【取組み内容】

工賃が増加した要因などとして各事業所から挙げられた取組みについてまとめております。

※工賃増加した事業所すべてに当てはまる取組みではございません。

## ① 専門家による指導・雇用

### ○ 作業ノウハウの獲得

- ・ 農業法人の技術指導（施設外就労）を受け、事業所での農業（自主製品）を実施する

### ○ 受注可能な作業の拡大

- ・ 工賃向上指導員として元個人経営者を雇用し、営業や作業、利用者への指導を実施（工事現場での作業・補助等）

### ○ 事業運営・作業改善

- ・ 工賃向上指導員として農業経営者を雇い、事業所の農作物の管理・収穫を担当してもらっている
- ・ レストランを運営するにあたり、調理師を雇用した

※専門家は障害福祉経験に関わらず雇用しており、障害者への対応や作業指導は主に事業所職員が対応している事例が多く挙げられる

## ②HP・SNSなどの活用

### ○他障害福祉施設との交流（他県を含む）

- ・ SNSへの投稿より、様々な事業所からのDM（ダイレクトメール）で情報交換ができた

### ○新規利用者・職員採用への影響

- ・ SNSの投稿を見て体験申込・新規利用を開始した事例あり（施設の雰囲気、魅力の発信）
- ・ （就活者向け）職場をイメージして貰いやすくなり、採用後の乖離が少ない

※ SNS投稿内容は何気ない日常の光景など、障害福祉とは直接的に結びつかない内容のものも多い（例：昼食の写真、販売会の様子、作業風景など）

※ 投稿作業は職員全体で実施している事業所が多く、特に若い職員が担当している場合が多い

## ③販路確保（自主製品）

### ○地域の飲食店

- ・ 地域のカフェに本日何が採れるか連絡し、その中から購入してもらっている

### ○農作物の卸売り（JA、スーパー等）

- ・ JA、スーパーへの卸売り
- ・ 畑の規模拡大に伴い、JAに加えてスーパーへの卸売り開始（少し珍しい野菜など中心）

### ○市町村役場関係

- ・ 市町村の施設（図書館等）の喫茶店運営
- ・ 市町村への営業活動実施（優先調達）

## ④作業・事業の改善

### ○高単価作業への転換

- ・ 工賃向上のため、内職中心から施設外作業中心の作業内容へ変更
- ・ A型へのステップアップを目的として、施設外就労（清掃作業）を新規受注
- ・ 時間単価を意識した単価の高い内職及び施設外就労への取組みを推進

### ○既存事業の改善

- ・ 売上が伸びなかった軽食屋を閉め、野菜・総菜の販売に注力（売上増）
- ・ （弁当販売など）原価問題より使用する食材の見直し実施（事業所内での試食等実施）

## ⑤その他

### ○利用者のアクティビティ活動

- ・ コンビニレク（1週間に1度、利用者がコンビニでお菓子等の買い出し）  
生活費計算レク（生活用品の購入する想定で費用計算） → 利用者の工賃に対する意識向上

### ○職員の意識改革

- ・ 職員毎に話し合いを行い、目標設定シートを作成（工賃向上含む）

## 工賃向上事業所からの意見

### 【新規事業・新規受注案件について】

・利用者のできる作業から受注する作業を決めるのではなく、儲かる事業（案件）を実施し、作業ができる利用者を増やす

→障害のあるなしに関わらず、初めての作業は失敗することがあたりまえ、“**障害がある**”から**失敗したわけではない**

→やってみないとできるようにはならない、“できない”と決めつけない

どうしても難しい作業

できるようになれる作業

できる作業



## (参考) 工賃が増加した事業所のアンケート結果

①昨年度から新たに取り組んだこと、工夫したことがある。

⇒「ある」：13事業所 「ない」：11事業所

②令和5年度から令和6年度にかけて、利用者の状況は？

⇒「増加」：12事業所 「減少」：5事業所 「増減なし」：6事業所

③工賃向上に対する事業所としての課題

選択項目	回答数	回答割合
受注量の不足	6	25.00%
低額な受注単価	10	41.67%
作業をする利用者の人数不足	9	37.50%
利用者の事情（高齢化等）	14	58.33%
支援者の人数不足	4	16.67%
支援者の技術不足	7	29.17%
外的要因（物価高等）	6	25.00%
福祉サービスの優先	5	20.83%
ノウハウの不足	5	20.83%

④県への要望事項

選択項目	回答数	回答割合
財政的な支援	13	54.17%
「割のいい」案件の紹介	8	33.33%
他事業所の事例の紹介	4	16.67%
他事業所との交流・情報交換	4	16.67%
経営に関する研修会等の開催	4	16.67%
農福連携に関する支援	6	25.00%

※③④は複数選択制のため、それぞれの回答割合の最大数は100%となります。